



奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

5月号

学校教育目標

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

体験をとおして学ぶ、本物に出あって学ぶ

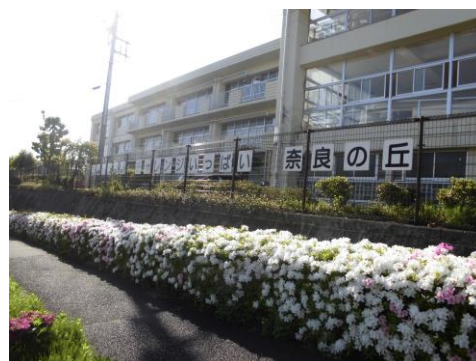
校長 岩崎 健治

新学期が始まり、もうすぐ4月が終わります。うららかな春の日ざしがうれしい季節、子どもたちが元気に登校してくる姿を見ていると自然と笑顔になります。1年生を迎え、なかよし遠足（全校遠足）に向けて、なかよし活動（縦割り活動）が始まりました。それぞれのグループが6年生を中心に、仲よく過ごして下級生にいろいろなことを丁寧に教えている姿がほほえましく思えます。

1年生は、迎える会でもらった2年生からの贈り物「アサガオの種」を生活科の時間にじっくりと観察し、自分の鉢に種をまくのを楽しみにしているようでした。

低学年の活動では、校外に出かけたり、校庭のあちこちを歩いたりして身近な自然や事ごとに触れることをとおして、四季の変化を体全体で感じ取ったり、気付いたことをもとに自分たちの生活を工夫したり、楽しくしたりするという学習が始まってきます。

校庭の隅には、昨年度、5年生の「総合的な学習の時間」の中からメダカが生活できる「ピオトープ」を造る案が生まれ、素敵な水辺が完成しました。子どもたちは、休み時間や理科の時間に、「ピオトープ」をのぞき、水中の様子を観察して生き物がいないかと、「メダカがいる」「あめんぼがいる」と声をあげ、発見したり、観察したりして喜んでいます。直接自分が観察したことを、自分の感性をとおして素直に表現しています。そこには、感情を伴いながら実感的にものごとを理解していく姿があります。新たな発見や思考を呼び起こすことで、次の学習へと発展していく「気付き」も出てきます。



《色鮮やかなサツキツツジ》

体験をとおして学ぶことや本物に出あって学ぶことは、生活科や理科に限らず他の教科等においても、あるいは「ひと」や「事ごと」になるときであっても、とても大切なことだと思います。

これから始まるなかよし遠足（全校遠足）や校外学習、体験活動をとおして、様々な学習対象に出会い、実際に「ひと」とかかわること、実際にやってみることは、子どもたちにとって手ごたえのある学びにつながっていくからです。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響から「ひと」と関わったり、本物と出あったりする機会が制限されてきました。この状況でも、子どもたちの安全・安心、健康を第一に考えて感染症対策を十分にとることによって今できる可能な限りの体験活動や本物に出あう機会を工夫してつくっていきたいと考えています。また、保護者の皆様の見守りや様々な方々と温かくかかわることで、子どもたちは、より豊かに学ぶことができているのだと思います。

コロナ禍の厳しい状況の中、新型コロナウイルス感染症対策等に、ご理解とご協力をいただいていることを心より感謝申し上げます。今後とも保護者の皆様、地域の皆様方のご理解と温かい支援を何卒、よろしくお願いいたします。

令和3年度 奈良の丘小学校 第21回 入学式

4月7日に、56名の1年生が入学しました。落ち着いた雰囲気の中、一人ひとりが瞳を輝かせ、これから始まる学校生活を楽しみにしているようでした。姿勢よく、しっかりお話を聞ける子どもたち。「笑顔いっぱい、チャレンジいっぱい、奈良の丘」のスローガンのもと、子どもたち誰もが安心して、豊かに、楽しい学校生活が送れるようにと心から願っております。ご入学おめでとうございます。



《お知らせ》

令和3年度のなかよし遠足（全校遠足）・宿泊体験学習については、午前中の実施を予定しておりますが、「まん延防止等重点措置」の状況によっては、今後の全校遠足（なかよし遠足）の延期、5年生御殿場宿泊体験学習、6年生日光修学旅行の延期、内容の変更等も考えられます。子どもたちの安全・安心と健康を第一に考えながら、今後の状況を鑑みて判断してまいります。詳細につきましては、後日お手紙にてお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

引き渡し訓練

1年生を迎える会